

芦田川の水質改善を目指す官民組織の「芦田川環境マネジメントセンター」(田中宏行会長、国土交通省福山河川事務所、福山市が共同し、十ヶ月を「河川浄化チャレンジ月間」として芦田川流域の家庭を対象に水質浄化の取り組みを呼びかける。今回からは携帯電話やパソコンサイトから

登録したり、取り組み状況を確認できる全国でも珍しい手法を取り入れ、参加者の広がりを目指す。

今年で五年目の取り組みで二〇〇七年からの三年間は実験的な取り組みとして特定の自治会や学区を対象に実施。昨年からは第二段階の実践的取り組みとして瀬戸川流域・高屋川流域全体の約二万五千世帯に参加を呼びかけた。昨年までは用紙に取り組み状況を記載して回収する方法だったが、今年は携帯やパソコンから登録・確認できるサイトを立ち上げ、参加促進を図る。

サイトでは参加登録のほか、排水口にネットをかけたり食器類を洗う際に洗剤の使用量を減らす

など家庭ができる五項目の取り組みによって水の汚れや濁りを示す三項目の指標の負荷削減率などを表示。取り組み効果を明確にする。また参加者の負荷削減率のランクングも明らかにし、やる気を促す。

登録は十一月一日から。市広報の十一月号掲載のQRコードや同センターのホームページなどから登録できる。取り組みの結果は来年二月に発表する。

田中会長は「参加するための敷居を低くした。たくさん的人が参加してほしい」と話している。問い合わせは同センター事務局(エフエムふくやま内、TEL〇八四・九二〇・八七七七)まで。



携帯を通じて登録が可能に

## 芦田川の水質改善活動

# 携帯、パソコンサイト活用へ 来月、参加者拡大図る